



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場会社名 明星工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1976 URL <http://www.meisei-kogyo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 壽輝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 印田 博 TEL 06-6447-0275
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,093	7.1	2,719	65.6	2,972	69.9	1,663	16.1
25年3月期第3四半期	28,103	14.6	1,641	125.6	1,748	194.8	1,432	123.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,288百万円 (45.1%) 25年3月期第3四半期 1,577百万円 (217.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	30.57	30.49
25年3月期第3四半期	25.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	49,401	32,076	64.5
25年3月期	46,375	30,110	64.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 31,874百万円 25年3月期 29,916百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	3.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

平成26年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 2円00銭
 詳細については、本日(平成26年1月31日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,000	△1.5	3,300	18.1	3,400	13.4	1,800	△13.3	33.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	63,386,718株	25年3月期	63,386,718株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	8,952,869株	25年3月期	8,978,547株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	54,431,525株	25年3月期3Q	56,233,990株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 受注及び売上の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による積極的な経済・金融政策等の効果により、円安・株高の定着化が進むなど回復基調となりましたが、欧州経済の低迷や新興国経済の減速等の影響もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、国内外の需要分野において積極的な営業活動を展開いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は、再生可能エネルギーへの期待もあり、ボイラ事業ではバイオマス発電関連等の新規受注が増加、建設工事業では海外案件の受注増加があり31,983百万円（前年同期比18.1%増）の計上となりました。売上高は、建設事業の海外工事、ボイラ事業の工事進捗が順調であったこともあり30,093百万円（同7.1%増）の計上となりました。

損益面では、国内外の建設工事業（主にLNG関連工事、プラントメンテナンス工事等の断熱工事分野）においてコスト削減努力の効果があり、営業利益は2,719百万円（同65.6%増）の計上となりました。

また、為替が円安基調で推移したこと等による営業外収支の改善もあり、経常利益は2,972百万円（同69.9%増）、四半期純利益は1,663百万円（同16.1%増）の計上となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①建設工事業

海外の断熱工事等の工事進捗が堅調に推移したこともあり、売上高は26,444百万円（前年同期比3.8%増）の計上となりました。また、国内外の建設工事業において採算面での改善もあり完成工事総利益が増加、セグメント利益は2,474百万円（同57.2%増）の計上となりました。

②ボイラ事業

国内のボイラ製造設置工事等について進捗、引渡しが堅調に推移したこともあり、売上高は3,648百万円（前年同期比39.1%増）の計上となりました。また、売上高の増加によりセグメント利益は201百万円（同389.3%増）の計上となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は31,332百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,340百万円増加いたしました。主な要因は未成工事支出金の増加2,581百万円、現金預金の増加797百万円、受取手形・完成工事未収入金等の減少710百万円、商品及び製品の減少145百万円等であります。

固定資産は18,069百万円となり、前連結会計年度末に比べ686百万円増加いたしました。主な要因は投資有価証券の増加1,039百万円、有形固定資産の減少189百万円等であります。

この結果、資産合計は49,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,026百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は12,434百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,115百万円増加いたしました。主な要因は未成工事受入金の増加1,685百万円、買掛金の増加267百万円、未払法人税等の増加258百万円、支払手形・工事未払金等の減少945百万円、短期借入金の減少307百万円等であります。

固定負債は4,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少いたしました。主な要因は繰延税金負債の増加291百万円、長期借入金の減少210百万円、退職給付引当金の減少49百万円等であります。

この結果、負債合計は17,325百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,061百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は32,076百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,965百万円増加いたしました。主な要因は四半期純利益の計上による増加1,663百万円、その他の包括利益累計額の増加612百万円、剰余金の配当による減少326百万円等であります。

この結果、自己資本比率は64.5%（前連結会計年度末は64.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績の状況から前回予想（平成25年10月31日公表）を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成26年1月31日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	8,244	9,041
受取手形・完成工事未収入金等	18,583	17,872
有価証券	9	—
未成工事支出金	1,167	3,748
商品及び製品	358	212
原材料及び貯蔵品	165	165
繰延税金資産	288	157
その他	201	293
貸倒引当金	△26	△158
流動資産合計	28,992	31,332
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	8,196	8,236
機械・運搬具	4,307	4,362
土地	11,375	11,375
その他	1,144	1,160
減価償却累計額	△10,508	△10,810
有形固定資産合計	14,514	14,324
無形固定資産		
投資その他の資産	41	53
投資有価証券	2,325	3,364
繰延税金資産	71	53
その他	474	319
貸倒引当金	△45	△46
投資その他の資産合計	2,826	3,690
固定資産合計	17,382	18,069
資産合計	46,375	49,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,003	5,057
支払信託	628	527
買掛金	332	600
短期借入金	1,415	1,108
未払法人税等	546	805
未成工事受入金	690	2,376
完成工事補償引当金	132	111
賞与引当金	321	114
役員賞与引当金	46	—
工事損失引当金	15	0
その他	1,186	1,733
流動負債合計	11,319	12,434
固定負債		
長期借入金	800	590
退職給付引当金	1,060	1,011
役員退職慰労引当金	300	284
繰延税金負債	2,078	2,370
再評価に係る繰延税金負債	562	562
資産除去債務	23	23
その他	119	49
固定負債合計	4,945	4,891
負債合計	16,264	17,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,889	6,889
資本剰余金	999	1,003
利益剰余金	22,652	23,989
自己株式	△2,367	△2,363
株主資本合計	28,173	29,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555	1,023
土地再評価差額金	879	879
為替換算調整勘定	307	452
その他の包括利益累計額合計	1,742	2,355
新株予約権	36	32
少数株主持分	157	169
純資産合計	30,110	32,076
負債純資産合計	46,375	49,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
完成工事高	28,103	30,093
完成工事原価	23,705	24,523
完成工事総利益	4,398	5,569
販売費及び一般管理費	2,756	2,850
営業利益	1,641	2,719
営業外収益		
受取利息	12	14
受取配当金	44	49
不動産賃貸料	93	91
為替差益	—	125
その他	65	66
営業外収益合計	215	348
営業外費用		
支払利息	17	14
為替差損	23	—
不動産賃貸原価	43	43
その他	24	38
営業外費用合計	108	96
経常利益	1,748	2,972
特別損失		
投資有価証券評価損	50	—
特別損失合計	50	—
税金等調整前四半期純利益	1,698	2,972
法人税、住民税及び事業税	200	1,110
法人税等調整額	38	185
法人税等合計	239	1,296
少数株主損益調整前四半期純利益	1,458	1,675
少数株主利益	26	11
四半期純利益	1,432	1,663

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,458	1,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	467
為替換算調整勘定	73	144
その他の包括利益合計	118	612
四半期包括利益	1,577	2,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,551	2,276
少数株主に係る四半期包括利益	26	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	25,481	2,622	28,103	—	28,103
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	151	159	(159)	—
計	25,489	2,774	28,263	(159)	28,103
セグメント利益	1,574	41	1,615	26	1,641

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	建設工事業	ボイラ事業	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	26,444	3,648	30,093	—	30,093
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	210	222	(222)	—
計	26,457	3,858	30,316	(222)	30,093
セグメント利益	2,474	201	2,676	43	2,719

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 受注及び売上の状況

a. 受注高

区 分	平成25年3月期 第3四半期		平成26年3月期 第3四半期		対前年同期 増減	平成25年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	23,131	85.4	24,620	77.0	1,489	34,273	86.0
ボイラ事業	3,956	14.6	7,362	23.0	3,405	5,568	14.0
合 計	27,088	100.0	31,983	100.0	4,894	39,841	100.0

b. 売上高

区 分	平成25年3月期 第3四半期		平成26年3月期 第3四半期		対前年同期 増減	平成25年3月期	
	金額(百万円)	%	金額(百万円)	%		金額(百万円)	%
建設工事業	25,481	90.7	26,444	87.9	963	37,573	90.3
ボイラ事業	2,622	9.3	3,648	12.1	1,026	4,055	9.7
合 計	28,103	100.0	30,093	100.0	1,989	41,629	100.0